



題字：初代教頭 久保 豊 先生



第 2 体育館



校 訓

自立・連帯・創造

## 〈校章の由来〉

高松西高の西（WEST）の頭文字である“W”3つを重ねて、力強くはばたく翼によって、西高の輝かしい未来への飛翔を象徴したものである。

また3つの“W”は、生徒・教師・父母三者の堅い結束のもとに

“Wisdom through Work and Will”

(強い意志とたゆまぬ勉学を通して英知を磨く)という校風樹立の誓いをあらわした

ものである。 校章デザイン 土岐 孝氏  
(昭和51年11月1日 制定)

URL:<http://www.kagawa-edu.takamatu.kagawa.jp/twesth01/>

## 目 次

会報発行に当たって	会 長 多田 雄治	ペー ジ
PTAだより	PTA会長 高橋 義清	1
薫 風	〳 恩師からのたより〵	2
メッセージボード		3
西高見聞録	〳 西高からのたより〵	5
部・同好会の活躍状況(平成11年度)		5
かぜだより	〳 同窓会からのたより〵	8
平成10年度「西風会」会務報告		8
平成11年度年会費納入のお願い		9
ミレニアム同窓会		10



# 会報発行に当たって



西風会会長

多田雄治

(1期)

去る三月七日、母校の第二十一回卒業証書授与式に出席いたしました。西風会会長として卒業式に出ることも、はや五回目、毎年、多くの卒業生を送り出し、そして、同窓会としては新しい仲間を迎える、当たり前のことではありますが、連綿と続く、この繰り返しに思いを新たにしております。

さて、卒業式について思うことですが、当然のことながら同窓会会長も来賓の一人として卒業生にお祝いを述べるわけです。学校長の式辞に続き、来賓が次々とスピーチをしていきますが、私が一番に考えているのが長過ぎないこと、これは二十年前の自分の経験をもとに心がけていることです。しかし、祝辞というのは卒業生に対する、はなむけの言葉、それぞれの方が、深い思いを込めて話しているものです。一人でも多くの卒業生に、その意味を汲んでもらいたい、老婆心ながら、そう感じている昨今です。

今年は、来年春の同窓会名簿発刊に向け、会員の皆さん方にも、いろいろと御協力をお願いすることになります。何といたっても名簿が同窓会活動の基本となりますので、より精度の高いものとなりますよう、重ねてみ皆さん方の御協力をお願いし、ごあいさついたします。

# PTAだより

PTA会長

高橋義清

西暦二千年、西風会の皆様におかれましては、各方面でご活躍のことと思われます。現在西高PTAではPTA役員の皆様の多大な協力により全国規模の各種大会、西高祭等西高の各種行事に多数の参加をいただき、積極的な活動を行っています。とりわけ昨年は第五十一回全国「人権同和教育大会」が高松市を中心に開催されました。

なんと全国からの動員人数は、二万二千人だったそうです。本校からも先生方三十名、PTAから十名が参加されました。五十回大会までは、人権、という字がありませんでしたが、今回から人権と言う字がつけ加わりました。この点からも容易に想像出来る事は間違いなく21世紀には人権の時代だと言う事でしょうか、私たちも改めて人権同和問題について今一度考えてみたいものです。

さて本年も三月七日、皆様の後輩である第21期生が、三年間のいろいろな思い出を胸に西高を巣立って行きました。西風にしかぜのようにさわやかにと言いたいところですが、自分の目標を達成した者、努力むなしく今一步のところまで目標を達成できなかつた者、さまざま巣立だったと思います。ただ全員の卒業生が高校生活を西高で御世話になったことを誇りに思い、巣立って行ったように思えました。

「世間の荒波に比べれば、高校時代の受験競争なんて」少し言い過ぎでしょうか、とにかく、今からが本当の人生競争なのだから……。最後にになりましたが、昨年より銭谷新校長が西高に来られました。変化する西高にとっては、最高の贈り物だと思っております(失礼な表現でおゆるし下さい)成人を迎えた西高にとって、安定、停滞でなく、さらな



る飛躍をするためには何かを変えていかなければ……。その期待を十分に私等PTAにいだかせていただける校長先生です。西風会の皆様も変化する西高に大いに期待していただき、盛大な御支援を西高に賜りますようPTAとしてお願い申し上げます。



良才（クジョン）高校との姉妹校調印式

## 薫風

### 恩師からのたより

校長

銭谷禎人

十一年ぶりに西高へ帰ってきました。ヤマモモ、クス、ヒバ、カイズカなど校内に植栽された木々が大きくなって驚きました。特に正門から左の土手沿いに並ぶヤマモモの木は、大地にしっかり根を張り、その幹の太さ、力強さが目を引きまします。そして西高もこのヤマモモの木のように、二十年余の間に力強く、逞しく成長しているように感じまします。

この四月に二十四回目の入学式を迎えました。これまで本校は先輩諸氏の大変なご尽力により、進学校として高い評価を得るに至っております。しかし歴史的に見ると、第一段階の二十年といういわば草創期を終えたばかりの、まだまだ新しい学校です。これからの二十年を一つのステップとして西高の飛躍・発展の時としなければいけないと思っております。どうぞ卒業生の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

さて、本校の同窓会活動については、まだ歴史が浅い学校ですから仕方ないと思いますが、一部の関係者を除いてあまり関心が強くないようです。まだ卒業生が若く、それぞれの仕事や子育てに忙しく、精神的にも時間的にも余裕がないものと思われまします。

考えてみれば、私自身も若い頃はそうでした。しかし今の年になると出身高校から同窓会だよりを送って来たり、同窓会の案内が来るとなんとなく嬉しくなります。

このように年をとった時、心の支えとなる同窓会になるためには、卒業生一人ひとりがもっと関心を持ち、連携し、協力することが大切だと思います。今後の西風会のさらなる発展を願っています。



# メッセージボード

## メッセージボードにつきまして

このメッセージボードは皆様からの返信はがき、ご実家、ご友人からの情報に基づき作成しました。この中には、転勤が多くご実家を連絡先に行っている方、また、確実な住所確認がとれず、頂いた情報のまま記載せざるを得なかった方、及び私共の力不足にて最後まで連絡先の分からなかった方もおられます。その辺りご理解の程、お願い申し上げます。今後の皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。

※尚、物故情報に関しましては、ご家族への確認、承諾の関係上明記しておりません事、ご了承くださいますようお願い申し上げます。また、ご本人の希望により、住所・電話番号等記載していない場合もございます。

# 恩師の方々

2年前母校の丸亀高校で定年を迎えました。38年間の教員生活を卒業したわけで、のんびりと自由を過ごそうと思っていました。が、請われて40年目も同じような事をやっております。

平尾 元彦 (丸亀市)

平成11年3月で飯山高校を最後に38年間の教員生活を終了しました。

三島 賢三 (綾歌郡)

定年退職して1年半が過ぎました。周囲の多くの方々は、退屈だろうと心配してくれますが、働く妻、老齢の両親を抱え主夫業に精出しています。暇があれば歩いているので、真っ黒になっています。皆様方の年齢が一番エネルギーに人生を送れる頃だと思えます。ご活躍を祈っています。

高橋 正時 (高松市)

# 卒業生

子供が3人になりました。一人前に家のローンも持ちました。身は痩せる思いなのにおなかは出るいっぽうです。なんでやろ?

toshiki@cc.okayama-u.ac.jp

綾野 克紀 (岡山県)

今後とも西風会をよろしく願います。

上村 幸司 (高松市)

平成10年4月に高松市立栗林小学校に転勤になり、2年目を迎えます。おもに5・6年生の理科を中心に教えています。本年度は全国小学校道徳教育研究会を行い、心の教育について全国に提案しました。

久保 直人 (高松市)

5年半のロンドンでの勤務を終え、99年4月から東京に住んでいます。

坂井 祐二 (東京都)

本官拝命して12年。益々意気軒昂。郷土の護りに身を賭しております。

白井 更司 (高松市)





西高を卒業して18年。高松工芸高校で教員を始めて12年。結婚して10年。時のたつのは早いものだ実感しています。西高を卒業した年に生まれた子供たちの担任として頑張っています。

中尾 伊知郎(高松市)

平成11年4月から14年3月まで、アラブ首長国連邦のドバイ日本人学校に勤務。

半山 章人(Dubai)

家族4人。11月でも半袖で元気に過ごしています。

大阪から高松に戻って6年が経過しました。今では2児(息子・娘)のおやじです。

chantata@pop17.odn.ne.jp 松本 英世(高松市)

5年前より高松に戻っています。よかったらメール下さい。

marchan@mx8.tiki.ne.jp 溝渕雅春(高松市)

職業:プランナー・デザイナー・コピーライター  
 タップダンスチーム「POT ATO TIPS」にて活動中。イベント出演OK!

kz-mura@pop02.odn.ne.jp 村岡 一史(高松市)

夫と1才と7才の子供たちと忙しく楽しい毎日を送っています。

naris@mb.infoewd.ne.jp

成澤 未知(浅野)(八王子市)

現在、埼玉県の県立高校で教員をしています。あっという間に教員生活も14年目といったカンジです。4才の女の子と2才の男の子の母としても忙しい毎日を送っています。皆さんも頑張ってください。

伊東真紀(恵比須)(幸手市)

会員制ハウスカフェオープンしました。メニュー30種類以上。栗林公園から徒歩3分どうぞお越し下さい。要予約 michiyo-k@hotmail.com

川原 美知代(高松市)

市内の中学校で体育を教えています。結婚10年目。娘2人。長女と同じクラスに西高の時のあこがれの先輩の息子さんが居ます。今は隣同士。不思議!?びっくり!? 白井 聡子(岸上)(香川郡)

今は香港で働いています。在住6年目になりました。中国出張が多く広東省を動き回っています。  
 IE SEAVIEW DISCOVERY BAY L ANTAU  
 ISLAND H. K 塩河 美砂(高松市)

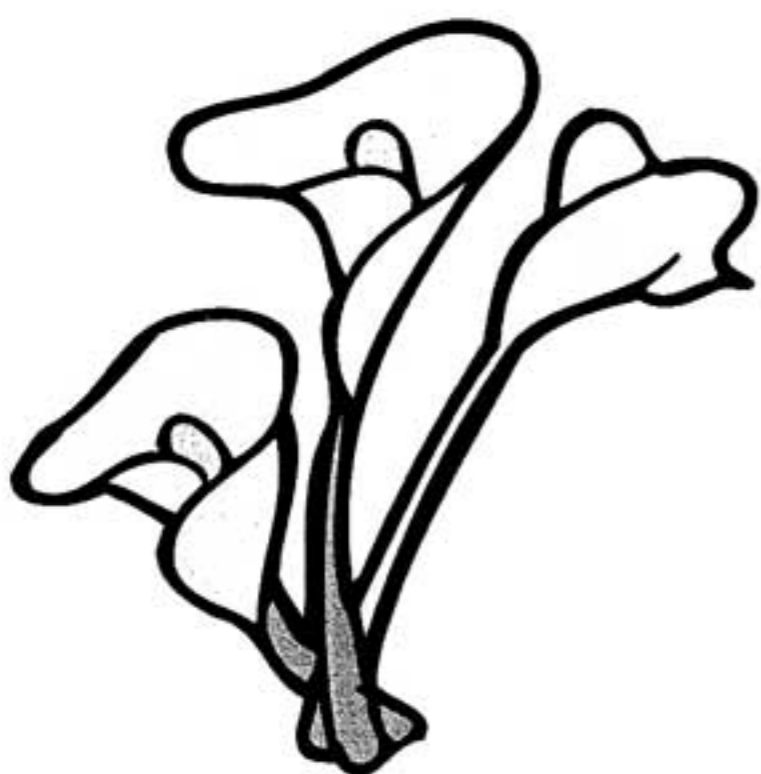
最近、ようやく職場に後輩が入って来ました。一期生も2000年が30才代最後、私たちも30才代は残すところわずかですよね。月日の過ぎるのはすくすく早いですね。 西村 美也子(高松市)

卒業してからあっという間に月日が過ぎて、今では子育てに明け暮れる日比を送るおばさんになってしまいました。

大野 直子(藤井)(大阪市)

主人が会社を辞めて父の仕事と一緒にすることになり(本人の希望により!)2年前に高松に戻ってきました。実家の父も今は姉と一緒に仏生山に住んでいます。

持丸 英公子(宮嶋)(高松市)





## 部・同好会の活躍状況(平成11年度)

## 運動部

## ◇卓球部

〈夏季強化大会〉

男子学校対抗の部 第6位

〈新人大会〉

男子学校対抗の部 ベスト8

## ◇陸上競技部

〈県高校総体〉

女子100M 2位 山西 景子

女子200M 2位 山西 景子

女子走幅跳 2位 山西 景子

女子400MR 3位 家田・木曾・秋山・山西

〈四国高校総体〉

女子100M 3位 山西 景子

女子走幅跳 3位 山西 景子

〈県新人陸上〉

女子100M 1位 山西 景子

女子走幅跳 1位 山西 景子

2位 宮本 妙子

女子400MR 2位 松本・秋山・宮本・山西

## ◇水泳部

〈県高校総体〉

男子400m自由形 1位 園中 貴文

男子1500m自由形 1位 園中 貴文

男子100mバタフライ 1位 奥座 裕介

女子200mバタフライ 1位 文 愛美

女子100mバタフライ 2位 文 愛美

女子200m背泳ぎ 3位 江原佐和子

女子100m背泳ぎ 2位 江原佐和子

〈四国高校総体〉

男子400m自由形 2位 園中 貴文

男子1500m自由形 1位 園中 貴文

女子200mバタフライ 3位 文 愛美

女子100mバタフライ 3位 文 愛美

〈新人戦〉

男子100m自由形 3位 園中 貴文

男子200m自由形 1位 園中 貴文

## ◇バレーボール部男子

〈平成十年度〉

〈後藤杯バレーボール大会〉 4位

〈新人バレーボール大会〉 4位

## ◇バドミントン部男子

〈新人強化大会〉

男子ダブルス ベスト8 豊嶋 純平・大倉健太郎組

西高見聞録

西高からのたより

◇ソフトテニス部男子

〈B級強化大会〉	3位	佐々木・森弘	
〈A級強化大会〉	2位	佐々木・森弘	
〈高松ソフトテニス大会〉	優勝	佐々木・森弘	
〈県高校総体〉			
男子学校対抗の部	ベスト8		

◇アーチェリー部

〈県高校総体〉			
女子団体	優勝	木村・丸山・土屋	1416点
女子個人	1位	木村真理子	519点
	2位	丸山 裕子	498点
〈県選手権大会〉			
男子の部	3位	都留 志郎	991点
女子の部	2位	土屋 祐子	1153点
〈新人大会〉			
女子団体	優勝	神本・小島・山田	
女子個人	1位	神本真裕美	523点
	2位	小島好視	499点
	3位	山田智香子	489点

◇弓道部男子・女子

〈県高校総体〉			
女子個人	3位	山崎 茜	
〈高松市長杯〉			
男子団体	ベスト8		

◇テコンドー同好会

〈KTA-JAPAN 会長杯テコンド大会〉			
一般の部	女子	47~55kg級	2位 香西 彩
		55~69kg級	2位 真利子

平成 11 年度 西高祭より





文化 部
------

## ◇放送部

〈第 36 回県高校放送コンテスト〉

アナウンス部個人の部 入選 川西 慶幸

〈第 16 回県高文連放送文化部門発表会〉

朗読部門 1 位 吉井 光子

## ◇書道部

〈第 28 回全国高校書道展〉 特選 福井 杏子  
吉原 啓子  
小林 奈美

〈高等学校書道展〉

主催武庫川女子大学 特選 川田 悠加  
木村 恭子  
金光 由花  
川田 悠加  
稲垣 陽子  
岩部香多留

〈第 8 回国際高校生選抜書展〉

四国地区優秀校 秀作賞 金光 由花  
入選 木村 恭子  
稲垣 陽子  
川田 悠加  
岩部香多留  
福井 杏子  
福井 智子  
吉原 啓子  
福井 智子

平成 11 年度緑化書道コンクール 特選

## ◇コーラス部

〈平成 11 年度全日本合唱コンクール四国支部香川県大会〉 金賞

〈第 39 回四国合唱コンクール〉 銀賞

〈平成 11 年度NHK全国学校音楽コンクール香川県コンクール〉 銀賞

## ◇吹奏楽部

〈第 47 回全日本吹奏楽コンクール香川県大会〉 銅賞

〈第 23 回全日本アンサンブルコンテスト香川県大会〉

パーカッション四重奏 銅賞

## ◇美術部

〈第 45 回全日本学生美術展〉 佳作入賞 高井恵里奈

## ◇演劇部

〈第 16 回香川県高等学校総合文化祭演劇 1999〉 優秀賞

〈第 24 回四国地区高等学校演劇研究大会  
(全国高等学校文化連盟演劇専門部門四国ブロック予選)・〉 優良賞

## ◇新聞同好会

〈第 40 回県内高校新聞コンクール〉

高松西高新聞第 21 号 優秀賞

## ◇将棋同好会

〈男子〉

〈第 21 回香川県高校選手権将棋大会 個人戦 ベスト 8

〈第 3 回高校文化連盟将棋新人大会 個人戦 準優勝

〈第 31 回県王位戦将棋大会 個人戦 ベスト 4

ベスト 8



平成10年度西風会収支決算 (案) (単位円)

収入の部		支出の部	
入会金 (18期)	1,488,000	会議費	170,595
年会費	0	通信費	1,064,230
15周年記念名簿売上収入	4,000	印刷費	954,811
20周年記念誌売上収入	10,500	慶弔費	48,000
雑収入	2,733	支部援助費	190,420
小 計	1,505,233		
積立金の取り崩し	922,823		
合 計	2,428,056	合 計	2,428,056

平成11年度西風会収支予算 (案) (単位円)

収入の部		支出の部	
入会金 (18期)	1,502,400	会議費	150,000
年会費	1,500,000	通信費	900,000
15周年記念名簿売上収入	100,000	印刷費	1,100,000
20周年記念誌売上収入	100,000	慶弔費	60,000
雑収入	1,000	支部援助費	120,000
		小 計	2,330,000
		積立金の積み増し	873,400
合 計	3,203,400	合 計	3,203,400

平成10年度当初積立金額 4,492,718  
 平成10年度当初積立金額 3,569,895  
 積立金取り崩し金額 922,823

か  
ぜ  
だ  
よ  
り  
同  
窓  
会  
か  
ら  
の  
た  
よ  
り

# 平成 10 年度西風会会務報告

平成10年	4月26日 (日)	役員会 総会について等	高松テルサ	
	5月16日 (土)	西高第2体育館落成記念式典	高松西高	2名
	6月20日 (土)	第18回総会	香川県社会福祉総合センター	
	9月4日 (金)	読売新聞「わが母校」掲載		
	10月9日 (金)	読売新聞「わが母校」掲載		
	11月25日 (水)	役員会 名簿管理の業者について等	よしべえ	
平成11年	2月1日 (月)	役員会 会報、名簿管理について等	よしべえ	
	3月4日 (木)	20期生入会式	高松西高	1名
	3月5日 (金)	20期生卒業式	高松西高	1名



# 平成11年度西風会行事計画 (案)

平成11年	7月3日 (出)	第19回総会	香川県社会福祉センター
	8月	西風10号作成委員会	
		西風9号発刊	
	11月	役員会 香川支部長引継ぎ 大津亮介(17期)～北山秀樹(18期)	高松西高
平成12年	3月	21期生入会式 21期生卒業式 役員会 年度末反省会	高松西高

- ・香川支部の新しい流れについて。
- ・役員任期・改選について。

平成11年度 西高祭より



## 平成十一年度年会費納入のお願い

平成十一年度年会費(千円)を同封の振込用紙にて納入くださるようお願い申し上げます。

西風会も財政状況が非常に厳しくなっています。また、来年度以降の会報は年会費を納入していただいた方のみとなっております。

会員の皆様の御理解・御協力をお願い申し上げます。



エメラルド同窓会 第3期生合同同窓会

幹事代表 明石亨久 (3期)

2000年が始まった。1月2日(日曜日)の朝、布団の中で初夢が何だったかと考えているときに、僕の頭脳のなかに朝日が差し込んだ。そうだ、今日は同窓会だ、時間は何時だ。場所はどこだっけ。わかっているはずなのに確かめずにはられない。

ここは、リーガホテル高松「エメラルドの間」18時、見たことあるような顔、全然知らない顔。完全に「おっさん」化しているものもいる。ひょっとすると自分も同じように見られているかもしれない。



壇上脇を見ると、先生、髪が白くなったなあ。黒いのは、染めているのかもしれない。いろいろな思いが脳裏をよぎる。幹事をする、これが好きじゃないんだが、代表ということ、で、一番に挨拶することになった。銭谷校長より先だ。上手な人の後よりましか。覚えてきたけど自信がない。えい、読んでしまえ。

来賓代表は、銭谷校長。上原先生の音頭で乾杯。みんなの近況報告を聞きながら、話が弾む。全部で60名ぐらい集まった。8名の先生方がお見えになられた。

時間が足りない。校歌が流れる。今も「世界を制する」だった。全体写

真を撮ると、あっという間の2時間が終わった。なんとか終わった。さあ2次会だ。だんだん元気になる。場所をかえて、盛り上がる。35名くらいか。このくらい集まるのは、計算済み。あちらこちらで、笑い声、話し声。喧騒のなかで、同窓会は続く。







気が付くと、周りには10名くらいか。おや、さっきと違う店だ。終わらない1日が、終わらないでほしい1日が、終わるに違いない夜が更ける。アルコールとタバコと化粧のにおいが混沌と渦巻く店で、笑いとおしゃべりののち、ちよっと昔に戻った自分がそこにいた気がした。

そして、けだるさと心地よさを連れて家(うち)へ帰り、そのまま布団にもぐりこむ。

ミレニアム2000年1月2日が終わった。二度と還らぬ日が。

追記、先生方。当日手伝って戴いた方。幹事の皆様。同窓生のみんな。ありがとうございました。そしてまた、次の2005年か2010年に逢いましょう。







西風 10 号

平成十二年三月一日発行

発行人 多田雄治(1期)

発行所 西風会

印刷 石田印刷有限公司